

こんちわ新聞

第 3254 号

2015 年
6 月 2 日

慶應労組
四谷支部

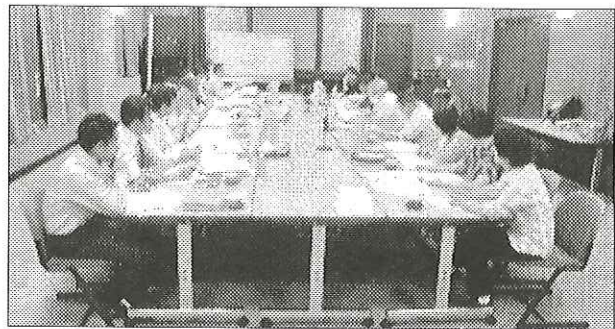
2015 春闘、要求実現のため 力を合わせましょう

2015 年春闘の団体交渉が始まっています。

◆2015 年春闘では、昨年よりさらに多くの企業が、ベースアップ（基本給の昇給）を行っています。財務省の調査によるとと資本金 10 億円以上の企業では、59% がベースアップを行っています。しかし岩波理事は、「学校法人にとって継続性と安定性、これが経営の中で一番大切な。それを考慮するとベースアップには慎重にならざるを得ない」と教職員のベースアップ要求には答えられないとの回答でした。

2014 年度は消費者物価が 2.3% 上昇しており、スーパーに行く和生活に必要なものがほとんど値上げされていることを実感します。消費税引き上げ、消費者物価の上昇により私たちの生活水準は引き下げが余儀なくされています。多くの教職員の切実な要求として、賃金引き上げを目指して交渉を続けます。

◆新人給与制度の不利益は正については、基本給の改定を提示してきました。これまで 45 歳で定期昇給がなくなる基本給でしたが、「45 歳から年に 300 円を定期昇給額とし、55 歳まで伸ばす」というものです。定期昇給の年齢を引き上げたことは評価できますが、年に 300 円という額について、驚きと怒りの



声が寄せられていきます。「慶應の仕事は大変だけれど他に比べると給与が安いから頑張れる」といった声がかかれています。

したが、1 年間で 300 円、10 年間で 3000 円しか上がらない賃金では考えなおさなくてはなりません。

医療の職場は、他産業に比べ賃金が低いとされています。東京医労連加盟 53 組合の中で看護師給与を比較すると慶應は 45 歳で 10 番目、55 歳で 27 番目、55 歳以降は東京医労連の平均額をも下

(裏面へつづく)

(表からのつづき)

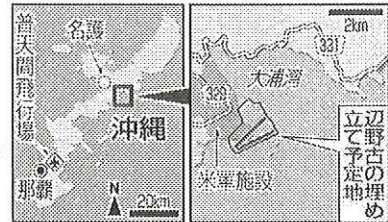
回る水準でしかありません。生活を守り、医療という厳しい現場で働く労働に見合った賃金となるように交渉を続けていきます。

◆ 新人事給与制度については6月12日を中心に議論されます。給与の住宅手当の復活を求める声や評価制度に対する疑問点など話し合います。6月25日には竹内病院長も出席し、病院関連問題が話し合われます。看護師の夜勤は昨年度よりも一人当たりの回数は減っていますが、53%以上が9回以上夜勤をしています。看護師だけではなく多くの職場から有給休暇が取りづらい、残業が多いなどの声が聞かれます。新病院棟開院に向け病院の問題について職員の生の声を届けましょう。

団体交渉は憲法でも保障された労働者の権利です。参加できる方は組合事務局(内線62020)まで連絡ください。

沖縄・辺野古の海を守ろう

沖縄辺野古・米軍新基地建設反対の支援行動に参加してきました。私の大好きな南国のリゾート地沖縄。今この島で米軍新基地建設をめぐる反対する県民と、強行する日本政府の間で大変な状況が起きています。



沖縄は70年前の悲惨な地上戦により、住民の4人に1人が犠牲となりました。住民は収容所に隔離され、強制的に土地が奪われて米軍基地が作られました。戦後70年経った今も国土の0.6%の沖縄に74%の米軍基地が集中し、いまだにアメリカの占領下のようにです。

日本政府は県民の声を無視し、陸・海・空軍を備えた最強の米軍基地を作ろうとしています。「そんな危険な基地ができれば抑止力どころか攻撃的となり、再び沖縄が戦争の犠牲になることは明白。今ここで中止させなければ大変なことになる」と沖縄県民は命がけで反対をしています。

船で辺野古の海を案内してもらい、400年かけてできたという大きなサンゴ礁とウミガメが泳ぐ姿を見ることが出来ました。ジュゴンが時々海藻を食べにくる海です。これらは全て絶滅に瀕しており守らなければいけません。私もこの美しい海に米軍基地を作ることは絶対反対です。微力ではありますが、基地建設反対のために協力したいと強く思いました。

今回は米軍基地ゲート前で市民と一緒に座り込みをし、17日に開催された沖縄県民集会にも参加してきました。3万5千人がセルラースタジアムを埋め尽くした感動の集会でした。

外来看護師：吉沢

書道展のお知らせ



5/30~6/15まで組合書道部による院内書道展(中央棟1階ローソンまでの廊下)が開催されています。部員が心をこめた作品を見に、ぜひ一度お立ち寄り下さい。